

令和6年度認定こども園かんべ幼稚園における自己評価 集計

A：大変良い
 B：良い
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、
 次年度の保育・教育に活かせる方向で記入してください。

・A・B・C・D の4段階評価です。施設名【認定こども園かんべ幼稚園】

自己評価の観点	A	B	C	D
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について				
① 園の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	1	8		
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	2	7		
2. 保育について				
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	4	5		
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	4	5		
③ 評価、資料、(諸記録)を集積している	4	5		
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に活かし、子どもの育ちに反映させている	4	4	1	
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	5	3	1	
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	5	4		
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	2	5	2	
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	3	5	1	
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	5	4		
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	5	4		
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	6	3		
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	3	6		
3. 健康管理について				
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	6	3		
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	2	7		
③ 乳幼児突然死症候群(SIDS)や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	7	1	1	
4. 行事について				
① 行事種類や実施回数は適切である	5	4		
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	3	6		
5. 食事について				
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	4	5		
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	5	4		
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	3	4	2	

自己評価の観点	A	B	C	D
6. 運営について				
① 園長や主任、職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	2	7		
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	1	7	1	
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	4	5		
7. 保険・安全指導について				
① 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	6	3		
② 事故や災害に適應できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	4	4	1	
③ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ちの良い環境に心がけている	6	3		
8. 研修について				
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	2	5	2	
② 研修報告を園内で実施している	2	4	2	1
9. 情報について				
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	9			
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	9			
10. 設備について				
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	3	6		
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	4	4	1	
11. 保護者支援について				
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	5	3	1	
② クラス懇談や個別懇談を行っている	6	2	1	
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	5	3	1	
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	6	3		
12. 開かれた園づくりについて				
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に開放している	6	2	1	
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	3	4	2	
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	2	5	2	
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	3	5	1	
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	8	1		
13. 情報発信について				
① 園だより、コドモン等で情報発信に努めている	7	2		
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	3	4	2	

自己評価の観点	A	B	C	D
13. 人権擁護について				
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている	7	2		
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	6	3		
15. 総括 年間を通しての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後、力を入れて取り組みたい事柄や課題等をお書きください。				

【前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点】

- 子ども1人1人の小さな成長やできたことを見逃さないようにし、子どもにこまめに伝えて褒めたり、保護者にコドモン等で丁寧に伝えるように心がけた。
- 他のクラスと合同で保育を行うことが増え職員同士の話し合いや連携が増えてよかった。
- 子どもの経験や環境という観点からも良かったと思う。
- 子どもの1人1人に合った保育、言葉がけができたと思う。
- 職員間のコミュニケーションがたくさん取れるようになった。
- 行事の活動で全職員が話し合える意見を出せる場があること。
- 前年度は子どもたちとのコミュニケーションに積極的に関わることを意識した。
- 子どもたちの発言や行動に注目し普段の様子との違いを感じ取るよう努めた。その結果子どもたちの気持ちや変化に早く気づきより適切に対応できる場面が増えたと思う。

【課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点】

- 子どもへの声かけや対応の仕方、行事の導入のタイミングや進め方など同じお部屋の先生から学ぶ事が多くあったので、次年度に活かしていきたいと思う。
- 1人1人の発達や興味関心に合わせた環境を準備できるようにしたい。
- 計画的に保育や行事を行っていくために、さらに事前の計画や話し合いを効率的に行い、各職員が役割を把握しやすく、動きやすくなるようにできればと思う。
- 2・3人の保育士が入る未満児は、保育中の保育士同士のコミュニケーションが大切である。周りの様子を見ながら、指示が出せるようにしたい。
- 調理担当者とのコミュニケーションを図られるようにしていきたい。
- 幼保の行事日程、時間をきちんと伝えられる話し合いの場や時間を設けていく。
- 子どもの成長・発達についての知識を職員全体で周知していきたい。
- 0歳児と1歳児と一緒に活動する際、支援が難しいと感じる場面があった。
- 園庭遊びでは、1歳児が積極的に動き遊ぶ一方で、0歳児の遊び方へのサポートに対する配慮等が十分でない場面もあった。次年度は、異年齢と一緒に活動する際にそれぞれの発達段階に合わせた役割分担を行い、安全に過ごせるエリア、自由に過ごせるエリアなど分けるなど環境を整えていく。